

トラック2

キャラクター感：人間に対して訝しげな態度、仕方なくやってる感じ

位置感：プレイ中は基本密着

プレイ内容：密着手コキ、嘘媚び

トラック1から引き続き

【位置：中 距離：中】

ふう……。

では、服を脱いでもらえますか？

はい、そうです。服。

どうしてって……。

先ほど説明しましたよね。

これから行うことは、国からの命令であると。

私の体で射精することで、

友好条約締結の足がかりとなるためだと。

だから……。

お兄さんに拒否権はないんですよ。

はい、ということ。おねがいします。

早く服、脱いでください。

【位置：やや右 距離：中↓やや近】

はぁ……。

もういいです。

これ以上抵抗されると、日が暮れてしまいますから。

私が脱がせます。

んっ……。動かないでくださいね。

(下を脱がせにかかる)

んっ……。……。

SF:ズボンを下ろす

(少し小声で独り言のよう)

人間って、聞いていた以上に面倒な生き物なんですね。
種の存続がかかっているというのに……。
んっ……。

個人的な感情ばかり……。

（独り言終了）

【位置：右 距離：近】

ふう……。出ました。

これが、生殖器……。

（訝しげな感じで）

えと。

これから本当に、精液が出るのでしょうか。

柔らかく萎れていて、ただぶら下がっているだけにしか見えないのですが……。

オスらしさが微塵も感じられませんし……。

それに、以前見せられた写真とも……。

……ん。

なるほど。大きくしてから……。

わかりました。

（一呼吸おいてから）

……じゃ、大きくしてもらえますか？

【位置：右↓やや右 距離：近↓やや近】

……え？

緊張して興奮できない……？

【位置：やや右↓中】

はぁ……。

じゃあどうしたらこれ、大きく出来るのか、教えてくれませんか？

お兄さんのお願ひ、1つくらいなら聞いてあげますから。

ああでも、手間のかからないのでお願いします。

私も、好きでやってるわけじゃないので。

あくまで仕事として……。

【位置：中↓やや左 距離：やや近↓近】
ふう……。

……耳舐め……？

お兄さんの耳を、舐めれば良いのでしょうか。

わかりました。

それだけなら楽そうですし。

いいですよ。

【位置：やや左↓左 距離：近↓密着】

（通常台詞は有声音で囁くように）

ん……。

じゃ、失礼します。

あーんっ……

アドリブ：（耳舐め 左15秒やさしく）

ふう……。

こんな感じでいいですか？

……はあ。

あの、黙ってたら分からないのですが……。

お兄さんがしてほしいと言うからしてるのに……。

んっ……

アドリブ：（耳舐め 左15秒やさしく）

（照れて黙っている主人公に少しストレスがたまる）

でも、その様子だと不満はなさそうですね。

初めて会ったサキュバスの前で顔を赤らめて。

恥ずかしく、ないのでしょうか……。

アドリブ：（耳舐め 左15秒少し激しめ）

【位置：左↓やや左 距離：密着↓近】

……ん。

お兄さんのここ。

大きくなってきました。

……たしかに。

今のこれは、いかにも淫猥な姿で、精液の臭いもしてきます。

たしか、これを手や女性器につかって擦ることで精液が出るんですね。

ええ。まあ。

サキユバスですし、人間を満足させる為の性教育があります。

最初の状態は予想外でしたが。

真面目に授業を受けてる人なんていませんが……。

人間との接触はもう数百年に渡ってありませんでしたから。

【位置：やや左↓左】

……ん。それじゃ、最初は手でいいですか？

私もまだ要領を得ないので。

了解です。

じゃ、握ります。

【距離：近↓密着 以降えっちパートは有声音囁きで】

ふう……。

んっ……。

これが男性器の感覚……。

私の手が触れる度に、ぴくぴくと震えて。

まるで別の生き物かのような……。

んっ……んっ……

私の手、どうですか？

初めて触れる、メスの感触……。

少し冷たくて、柔らかい……？

……ええ私、見ての通り身体が強くないので。

この国の寒さに慣れるまではまだ時間がかかりそうです。

んっ……。

(声を抑えて、若干の陰を感じさせるような)

それにしても、柔らかい。ですか……。

あまり他人の身体に触れたことがないので、新鮮な感想です。

私、こんな性格ですから。

側近の方々とも、知り合いのサキユバスとも距離が生まれてしまつて……。

(……まで)

(少し精神的に距離を置く感じで)

ん。すみません。

話がそれてしまいました。

(……まで)

では、このまま。

セックスみたいに、手を動かしますから。

精液の準備をお願いします。

んっ……んっ……。

このくらいでいいですか？

力加減。

……はい。

それなら良かったです。

ふう……。

それから、耳舐めがお好きとのことでしたので。

また、失礼します。

んっ……。

アドリブ…(耳舐め 左やさしめ 20秒)

はぁ……

サキユバスの耳舐め、気持ち良いですか？

そういえば私達の唾液には媚薬効果があるみたいです。

あーん……

アドリブ:(耳舐め やさしめ 20秒)

ふう……。

(少しだけ、感じさせないくらいに不機嫌でうつむく感じで)

ただ、こう……。

耳を舐めるために、お兄さんに身を寄せてしていると、私の胸がお兄さんにあたって……。

……いえ、それ自体は別に……。

ただ、チラチラと舐め回すような視線が、少し……。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 優しめ 20秒)

はあ……

【距離:近】

(一呼吸はさんでから)

……。

もしかして、胸に性的興奮を感じるんですか？

ん……。初耳です。

これ、授乳するための器官のほうですが……。

はあ……。

分かりました。

その視線、少し不愉快な気持ちにもなりますが……。

それで早く終わるなら……。……。

【距離:密着】

んっ……

こうやって。

胸を押し当てながら、引き続き。

あーん……

アドリブ:(耳舐め やさしめ 20秒)

はあ……

顔、動かさないでください。

お兄さんが好きだというからしてるんですから……。

耳舐めしにくいので、こちらを向いてください。
ほら。

ぎゅーっ。

あーん……

アドリブ…(耳舐めやさしめ20秒)
はぁ……

(少しだけからかうように)
どうですか？

耳が動くので抱きついて固定しました。
先ほどよりも胸が当たってしまいますね。

(っっまぐ)
アドリブ…(耳舐めやさしめ20秒)

それから、こうやって……。
んっ。お兄さんの足に、私の太ももが絡みつくように……。
……ふう。

先ほど柔らかいと言っていた私の肌……。
密着するとより感じられますか？

アドリブ…(耳舐めやさしめ20秒)

(少しだけ小声で)
お兄さんの息、先程より激しくなってきました。
気持ち悪いです。
ふう……。
先ほど出会ったばかりなのに……。

(っっまぐ)
……え？
聞こえました？

私も本当はしたくないんですから……。うだうだしたって時間の無駄なので……。…。

あーん……

アドリブ…(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……

なぜここまでって……。

王妃としての職務だからですよ。

先ほど説明しましたよね。

(少し小声で、若干むすつとしたような感じで)
それに、ちよつと退屈を感じてたから……。

(っっまで)

いや、いいんです。なんでもないです。はあ。

そんなことより、早く精液準備してください。途中で萎えられたら努力が水の泡なんですから。

★く以降射精まで、耳舐めは激しく深めで

あーん……

アドリブ…(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……

サキユバス耳舐め、激しくしてみました。そんなに足を震わせて……。情けないですね。

不要なことばかり聴くからですよ。

アドリブ…(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……

んっ……。

あの、どうしたんですか？

私の太ももにこれ。出し入れしていますが。

……ん。

夢中で何も聞こえない様子……。

唾液の媚薬成分でおかしくなってしまうのか……。まるで、獣みたいです。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ20秒)

はあ……

いいですよ。そのまま。

情けなく腰をヘコヘコして、私の太ももで気持ちよくなってください。

私はこの……精巢を、触っておいてあげますからね。

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ20秒)

(囁き無声音)

お兄さん、かっこいいですよ。

初対面のメスに煽られて、太ももで気持ちよくなってる姿……。

(ハハハ)

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ20秒)

はあ……

へえ……。

試しに本能を刺激してみました。
想像以上の効果。

問いかけには答えないのに、都合の良い生き物ですね。

はあ……。

★以降、射精までは囁き無声音で

頑張れ、お兄さん。

いっぱい腰振り……男らしい腰振りしてください。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……。

精巣から、精液が作られてくる感触が伝わります。

射精が近いんですか？

素敵ですよ。

サキユバスに精液を出してくれるんですね。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……。

えー、あー。はい。

かっこいいですよ。お兄さん。

近所の方が通るかも知れない廊下に扉一枚挟んだだけのことで、

精液ぐつぐつ準備してるお兄さん、かっこいいですよ。

うん、かっこいい。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……。

私の手の中から、にゅぷにゅぷって音がしてきました。

精液の臭いも……。

そろそろ精液が出るのでしょうか……。

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ 20秒)
はあ……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめ ラストスパート 30秒 息を交えながら)

はい、出してください。

かっこいいお射精、お願いします

あーん……

アドリブ:(耳舐め 左 深く激しめラスト30秒途中で射精 息を交えながら)

SE:射精

★

★

んちゅ……ちゅう、ちゅう……れろ、んれろ、んれろ……

はぁ……

【位置:前 距離:密着↓近】

んっ……。

精液、出てます……。

私の手と太もも、お兄さんの精液でびちょびちょ……。

ふう……。

これが人間の精液……。

たしかに、生精液のほうがドロドロしてて、見るからに栄養がありそうな。

(精液を舐め取る)

んっ……。

ぺろ、ぺろ、ぺろ、ぺろ。

なるほど……。

ご先祖様達が人間を主食としていた理由が分かります。

そういうもの、です。

喉に絡みついてくるこの精液、大変美味しいですよ。

……ん。

まだ、こちらに……

精液、絡みついています。

これ、全部すくい取って……。

(精液を舐め取る、台詞ではなく水音です)

あーん。

ぺろ、ぺろ、ぺろ、ぺろ、ぺろ。

ふう……。

いしちんがやめになった。

【位置：前 距離：近↓やや近】

お兄さん、どうでしたか……？

……ん。聞くまでも無さそうですね。

先ほどから、はあはあ……と、情けない声が漏れてしまっていますし。

それに、足もガクガク震えて。

立ってるのがやっとなって感じます。

ふう。

今日は仕方ないですから。ゆっくり休んでください。

次は、もう少し耐えてくださいね。

お兄さんが意識を保ってないと、わざわざしてる意味が、
無くなってしまいますから。